



# 本康歯科ニュース



「世界中のどの歯医者に行くよりも、この歯医者に来て良かった！！」と思ってもらえる歯科医院めざして！

## 口腔機能発達不全症について

「食べる機能」、「話す機能」、または「呼吸する機能」が十分に発達していないか、正常（定型的）に機能獲得ができていない状態で、明らかな摂食機能障害の原因疾患を有さず、定型発達において個人因子あるいは環境因子に専門的な関与が必要な状態。（咀嚼や嚥下が上手くできない、構音の異常、口呼吸などが認められる。あまり自覚症状がない場合が多い。）

最近特にこのような症状があるお子さんが増えています。この治療はとても難しく家族の協力を必要とします。

### 判定基準

右の表において C-1～C-12 のうち 2 つ以上に該当するものを「口腔機能発達不全症」と診断する。なお、1 つは C-1～C-6 を必須とする。

A 機能	B 分類	C 項目	該当項目	指導・管理 の 必要性
食べる	咀嚼機能	C-1 歯の萌出に遅れがある	<input type="checkbox"/>	□
		C-2 機能的因子による歯列・咬合の異常がある	<input type="checkbox"/>	
		C-3 咀嚼に影響するう蝕がある	<input type="checkbox"/>	
		C-4 強く咬みしめられない	<input type="checkbox"/>	
		C-5 咀嚼時間が長すぎる、短すぎる	<input type="checkbox"/>	
		C-6 偏咀嚼がある	<input type="checkbox"/>	
	嚥下機能	C-7 舌の突出(乳児嚥下の残存)がみられる(離乳完了後)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	食行動	C-8 哺乳量・食べる量、回数が多すぎたり少なすぎたりムラがある等	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
話す	構音機能	C-9 構音に障害がある(音の置換、省略、歪み等がある)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		C-10 口唇の閉鎖不全がある(安静時に口唇閉鎖を認めない)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		C-11 口腔習癖がある	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		C-12 舌小帯に異常がある	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
その他	栄養 (体格)	C-13 やせ、または肥満である (カウプ指数・ローレル指数で評価)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	その他	C-14 口呼吸がある	<input type="checkbox"/>	□
		C-15 口蓋扁桃等に肥大がある	<input type="checkbox"/>	
		C-16 睡眠時のいびきがある	<input type="checkbox"/>	
		C-17 上記以外の問題点 ( )	<input type="checkbox"/>	



お伝えます！

## 今、知っておきたい 歯科ニュース

### 絶対ダメ！ イギリスで急増中の“<sup>ディーアイワイ</sup>DIY歯科”

**DIY歯科**とは、自分で自分の歯を治療する行為のことです。イギリスでは新型コロナウイルスの流行期、**歯科の予約が1年先**という事態が発生！ 歯のトラブルを1年も放置できないと、知識もないのに自力で抜歯したり、接着剤や金属ヤスリを駆使して補修したりする“**DIY歯科**”が増えたようです。イギリスでは、保険診療よりも**自費での治療を優先させる歯科医が増えた**ことに加え、光熱費などの物価高騰が重なったことも“**DIY歯科**”が急増する要因のひとつになったそうです。

結局、自分で“**DIY歯科**”をしても**症状を悪化させるだけ**です。感染症の**リスク**もありますので、決して行ってはいけません！

